



シシリムカ・イウォロ博物館計画

IWORネットワーク構想（2001）に基づく
地域の自然と歴史文化の理解促進と
持続的な環境保全へのビジョン提案

2025年3月

計画の背景

「IWOR構想」※（2001）

※正式名称は「IWOR=イウォロの創造的再生と発展に向けた提案：アイヌ文化の里二風谷を中心とした沙流川流域の伝統的生活空間整備構想」。以降「IWOR構想」とする。

基本理念 | 自然と人間との共生,多民族・多文化共生のモデル地域

基本目的 |
・アイヌ文化の総合的な伝承と振興
・アイヌの伝統や文化に対する理解の促進

基本機能 |
・学びの場【伝承・学習】
・試みの場【試験・研究】
・恵みの場【採集・狩猟】
・広めの場【啓発・交流】
・暮しの場【生計・生産】

「21世紀・アイヌ文化伝承の森再生計画（2013）」

平取町・平取アイヌ協会・北海道森林管理局の三者協定に基づく森づくりのビジョン

課題：アイヌの伝統文化と今日的継承のあり方を体系的に伝える取り組み

- ・沙流川流域の森林・河川に展開した伝統的生活空間「イウォロ」の再認識・発信
- ・「イウォロ」の再生・保全活動に関するの体験を伴う学び

シシリムカ・イウォロ博物館のビジョン

「ウポポイ」
(民族共生象徴空間)



「シシリムカ・イウォロ博物館」
(民族共生象徴地域)



- 施設型の民族共生象徴空間である「ウポポイ」と響きあう存在として、フィールド型の民族共生象徴地域としての「シシリムカ・イウォロ博物館」を展開する。
- 「イオル構想」に関連する事業成果、整備施設、諸活動を統合し、平取町独自の魅力を伝えるテーマに沿って案内・解説することで、アイヌ文化のさらなる理解促進を図る。

▶コンセプト：額平川・沙流川流域に生きるアイヌと文化の現在（いま）を学ぶ

「エコミュージアム」とは？

□ 基本的な考え方

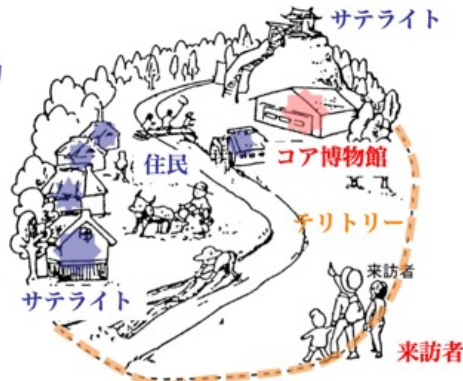
- 地域全体をまとめた物語を持つテリトリー（文化圏）とし、**屋根のない博物館**と見なす
- 遺産（地域の自然や歴史文化、暮らし）を**現地で本物を保存・保全しながら展示する**
- 正式な「博物館活動」であり、**学芸活動による科学の検証を怠らない**
- 遺産の価値を**地域住民自らが発掘し、エコミュージアムの最初の来訪者**となる
- **遺産を誇りとする住民が訪問者と一緒になって遺産の魅力を楽しみ交流していく活動**

伝統的博物館



訪問者は **博物館の建物**の中で本物を見る

エコミュージアム



訪問者は **オリジナルな場所**で本物に触れる

エコミュージアムの考え方

新井重三（『実践 エコミュージアム入門—21世紀のまちおこし』（1995）の挿図をもとに作成

シシリムカ・イウォロ博物館を構成する要素

- ① **コア（博物館）**
中心施設で学芸活動の拠点
- ② **サテライト（博物館）**
テリトリーに存在する資源
- ③ **ディスカバリー・トレイル**
コア・サテライトを巡る道
- ④ **ゲートウェイ**
観光案内機能を持った施設



ディスカバリー・トレイルを巡ることで理解を促す 価値や魅力の解説ストーリーを組み立てる

3つのテーマを通して価値を伝える

□ テーマとは？

- 本計画では、住民が大切にしたいと思う地域の自然や歴史文化を**解説**（インタープリテーション）するため、わかりやすいいくつかのテーマを設定し、誰もが口をついて語れるような**物語**（ストーリー）として記述します。
- 地域の**歴史文化資源をきたまま保全する文化的景観の考え方を、シシリムカ・イウォロ博物館の核**とし、平取町全体で展開します。
- そこで、平取町重要文化的景観の価値説明文をもとに、シシリムカ・イウォロ博物館の**テーマを下記の3つに設定**しました。

テーマ1
アイヌのまなざしを
借りて見る
沙流川流域の自然

テーマ2
今日に継承される
イウォロと
アイヌの伝統的生活文化

テーマ3
近代以降の
アイヌの暮らしと
共生社会への道

テーマ1

アイヌのまなざしを借りて 見る沙流川流域の自然

▼ストーリー

日高山脈最高峰ポロシリは、沙流川流域のアイヌ（サルンクル）に敬われ、また畏れられてきた。ポロシリに連なる山々を源流とする額平川及び沙流川流域のさまざまな場所に、サルンクルにとって身近であり大切な神様であるオキクルミやその他のカムイの存在を見出した伝承地や、祈りを捧げた場所チノミシリが今日まで受け継がれている。

▼体験・理解できること

アイヌ文化に関する伝承や解説とともに重要文化的景観に選定された実際の景観をめぐり、沙流川流域の自然へのアイヌのまなざしを借りることで地域の自然特性をより深く理解することができる。

▼持ち帰ってもらいたいメッセージ

自然にカムイの存在を見出したアイヌの世界観（その世界観を生んだ創造力）に触れてもらいたい。

テーマ2

今日に継承されるイウォロと アイヌの伝統的生活文化

▼ストーリー

アイヌは、コタンを取り巻くイウォロと呼ばれる生活圏の中で、衣食住に必要な資源を獲得してきた。アイヌは、自然資源の特質を理解し、その獲得方法・時期、量、加工に関する技術や知識を積み重ね、それらを生活生業の中に取り入れてきた。このような自然との共生の作法は、今日の沙流川流域のアイヌをはじめとする地域住民に日常的に受け継がれている。

▼体験・理解できること

イウォロに見られる動植物、イウォロで培われた伝統的知識と技術、イウォロのかかわりの中で生み出された有形無形の所産を、展示・現地見学や文化環境保全に関わる体験や携わる当事者のガイドを通して学ぶことができる。

▼持ち帰ってもらいたいメッセージ

アイヌ文化の継承とイウォロの保全は不可分なものであり、地域のアイヌや関係者が中心となって文化環境の保全事業が行われていることを知ってもらいたい。

テーマ3

近代以降のアイヌの暮らしと 共生社会への道

▼ストーリー

19世紀後半以降、アイヌの伝統的な生業や生活文化は変化を余儀なくされた。こうした中でも、アイヌも和人もさまざまな協働のなかで文化継承のためのたゆまぬ努力を続けた。特に、沙流川における2つのダム建設は、アイヌ文化の保全と継承に甚大な影響を及ぼしたが、アイヌ文化復興・振興の活動をより高次のレベルで展開する契機となった。

▼体験・理解できること

近代以降のアイヌの生活生業を展示や歴史的建造物等を通して学ぶことができる。また個人やコミュニティの努力による文化継承について、展示と文化環境保全に携わる当事者のガイドを通して理解できる。

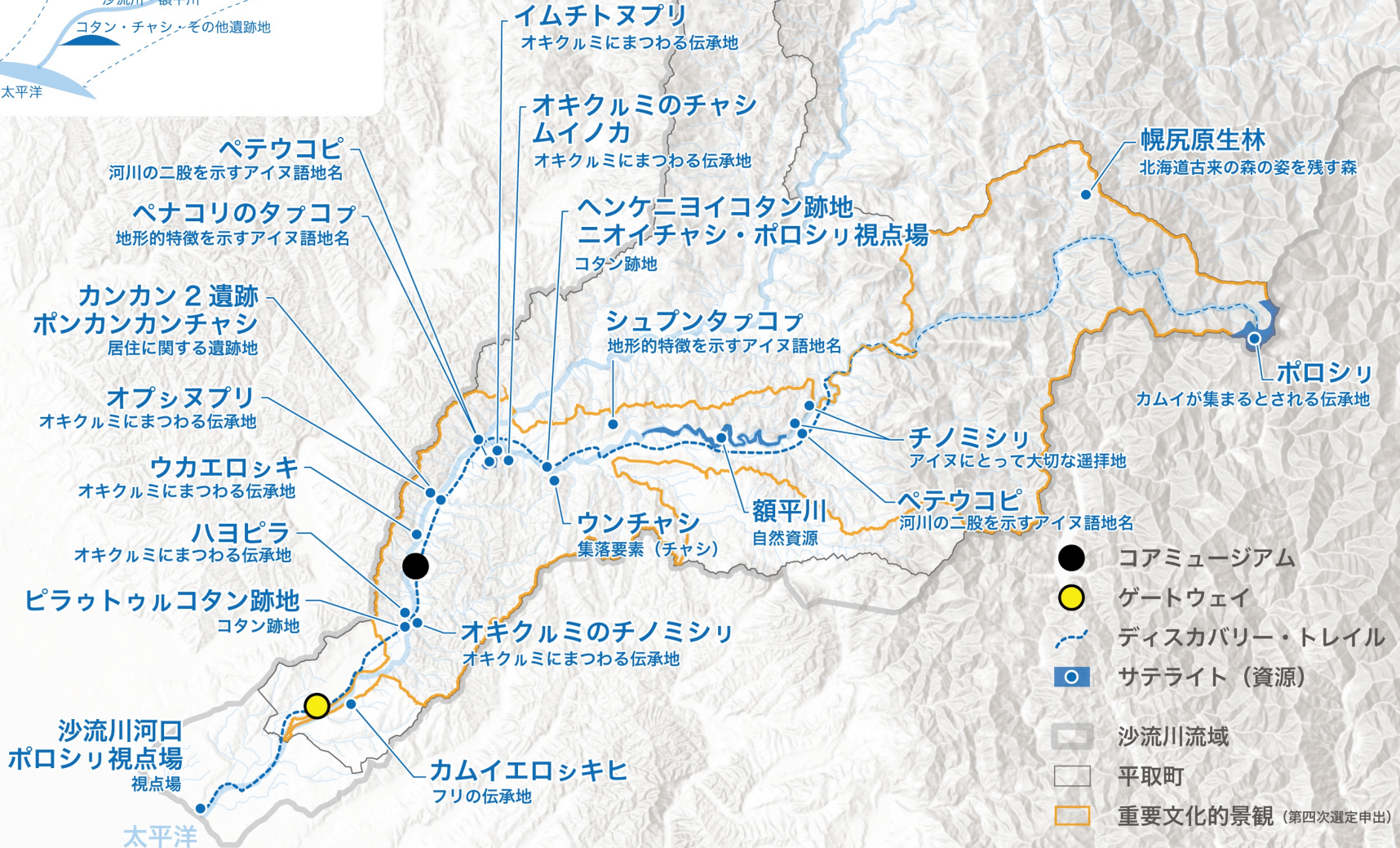
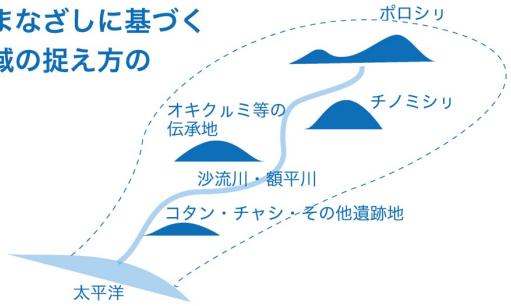
▼持ち帰ってもらいたいメッセージ

アイヌ文化の継承や文化振興に対する地域のアイヌや関係者の努力、協働を通して目指す社会のあり方について伝えたい。

サテライトマップ1

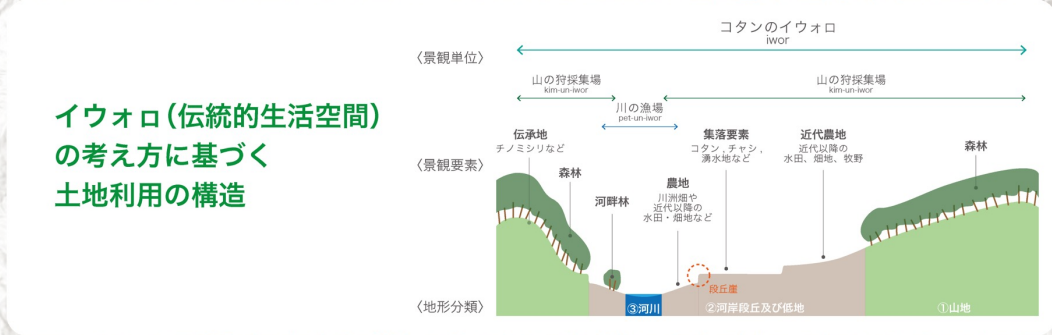
アイヌのまなざしを借りて見る沙流川流域の自然

アイヌのまなざしに基づく
沙流川流域の捉え方の
概念図



二風谷エリア

- イオル文化交流センター**
平取町アイヌ文化振興公社の活動拠点
- 二風谷工芸館**
地元工芸家の作品の展示販売
- 二風谷コタン**
博物館やチセを中心としたアイヌ文化の学びの場
- ウレシバ**
伝統工芸の学び・体験の場
- 生活館**
伝統食体験の場
- 萱野茂二風谷アイヌ資料館**
伝統工芸、生活文化に関する展示
- 歴史館 博物館**
- 匠の道**
地元工芸の店舗

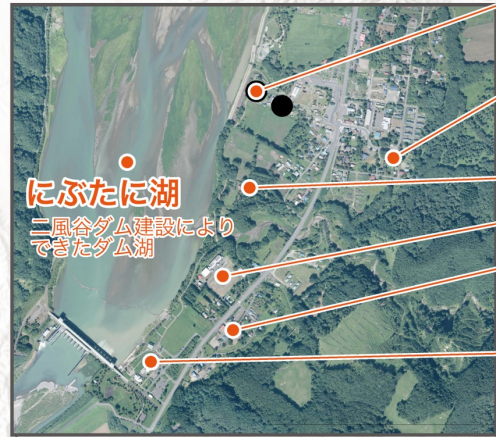


- にぶたに湖右岸の国有林**
アイヌ文化伝承の森づくりのフィールド
- ノカピライウォロ・ビジターセンター**
伝統的生活空間イウォロの解説展示
アイヌ文化保全の紹介
- ノカピライウォロ標本園**
アイヌ文化に関わる植物の栽培地
- ヌプカトイ**
丘畑 (雑穀栽培地)
- アベツ国有林**
アイヌ文化伝承の森づくりのフィールド
- オサツ沢**
伝統儀式チブサンケの継承の場
- イオルの森**
イオル再生事業 (森づくり)のフィールド
- イオルの水辺空間**
水性植物の再生地

Legend:

- コアミュージアム
- ゲートウェイ
- ディスカバリー・トレイル
- サテライト (資源)
- 沙流川流域
- 平取町
- 重要文化的景観 (第四次選定申出)

二風谷エリア



にぶたに湖

二風谷ダム建設によりできたダム湖

沙流川歴史館

チャシ跡等の遺跡地で発掘された遺物展示等

萱野茂二風谷アイヌ資料館

萱野茂により収集・復元された民具等の展示

旧マンロー邸 昭和初期の歴史を物語る建物

二風谷小学校 近代以降の二風谷集落の歴史を理解する上で重要な要素

コタン通り 明治期の集落の主要道

二風谷ダム展示室

二風谷ダム建設

イオルの森

イオル再生事業（森づくり）のフィールド

にぶたに湖右岸の国有林

アイヌ文化伝承の森づくりのフィールド

開拓財産展示施設

開拓期の生活生業に関する展示施設

ヌプカトイ

丘畑（雑穀栽培地）

アベツ国有林

アイヌ文化伝承の森づくりのフィールド

オサツ沢

伝統儀式チアサンケの継承の場

イオルの水辺空間

水性植物の再生地

イザベラ・バードが辿った道

イザベラ・バードが歩いた佐留太から平取までの道

ノカピライウオロ・ビジターセンター

伝統的生活空間イウオロの解説展示
アイヌ文化保全の紹介

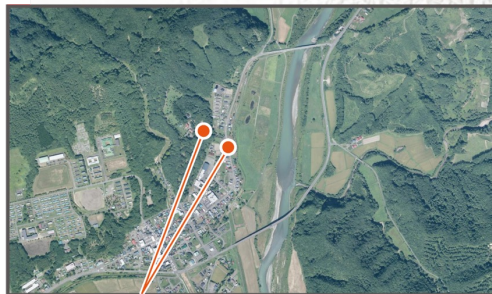
すずらん群生地

軍馬の生産地跡の群生すずらん

ノカピライウオロ標本園

アイヌ文化に関わる植物の栽培地

平取（本町）エリア



ペンリウクチセ

ピラウトウルコタン跡の生活道路

義経神社

平取の幕末から近代にかけての歴史を物語る要素

● コアミュージアム

● ゲートウェイ

--- ディスカバリー・トレイル

○ サテライト（資源）

沙流川流域

平取町

重要文化的景観（第四次選定申出）

インタープリテーション（解説）のツール

- シシリムカ・イウォロ博物館事業を展開するにあたり、地域住民が中心となってインタープリテーション事業を実施していく上で必要な下記のツールを制作・整備する。
- は未整備のものであり今後制作・整備していく必要がある。●はすでに制作・整備されているものだが、必要に応じて更新を行う。

	ウェブ・映像	紙媒体	サイン	解説板 解説ボード	プログラム
全体解説	○ポータルサイト ○案内映像	○総合ガイドブック ●景観マップ	○テリトリーマップ	○シシリムカ・IWOR博物館概要パネル	●全体解説ツアー (各組織連携により企画するプログラム)
個別解説	●各組織のHP ●動画コンテンツ	●各施設パンフレット ●文化的景観解説シート	●施設案内サイン	●解説展示パネル ●ツアー解説資料	●部分解説ツアー (各組織が個別に主催するプログラム)
資料	○データベース	○資料目録 ●各種報告書	—	—	



まずは、ウェブ・映像コンテンツを集約した「デジタルコアミュージアム」を開設する

運営体制について

- シシリムカ・イウォロ博物館は、これまでアイヌの伝統文化の保全、振興に携わってきた関係者を中心とした下記の体制にて運営を行う。

